

アルファ・ウイン 企業調査レポート

デジタルメディアプロフェッショナル (3652 東証マザーズ) 発行日：2017/8/21

アルファ・ウイン 調査部
<http://www.awincap.jp/>

● 決算速報

◆ グラフィックス技術に特化した研究開発型ファブレス半導体ベンダー

- ・デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）は、同社が独自に開発したグラフィックス技術をライセンス供与、またはこれを組み込んだ LSI 製品の生産を外部委託し販売する研究開発型ファブレス半導体ベンダーである。
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「IoT 推進のための横断技術開発プロジェクト」の受託（2016年7月8日リリース）等は、技術開発力において同社が高い競争力を有している証左と考えられる。

◆ 2018年3月期第1四半期決算～前年同期比で223%増収ながら営業損失計上

- ・同社の2018/3期第1四半期（以下、Q1）業績は、売上高141百万円（前年同期比223.3%増）、営業損失114百万円（前年同期損失額131百万円）、経常損失114百万円（同141百万円）、当期純損失114百万円（同141百万円）であった。
- ・事業別売上高は以下の通りである。
 - ア) IP コアライセンス事業は84百万円（前年同期比95%増）。既存顧客向けのランニングロイヤリティ収入、及び保守サポート収入を計上した。特にランニングロイヤリティ収入が強含みであった。
 - イ) LSI 製品事業は4百万円（前年同期は売上計上なし）。アミューズメント機器向け画像処理プロセッサ「RS1」の試作品を出荷したことで売上計上となった。
 - ウ) その他の事業は52百万円（前年同期は売上計上なし）。NEDO 及び数社からの AI(人工知能) 関連の受託開発、住友三井オートサービスが提供するドライブレコーダー動画の自動解析サービスに採用された同社の人工知能(AI) 製品である「ZIA Classifier」関連の売上高が計上された。
- ・採算性の高い IP コアライセンス事業の牽引で大幅増収となったものの、売上総利益率は前年同期比7.4%ポイント低下の61.1%であった。RS1 の開発費を計上したためである。販売費及び一般管理費（以下、販管費）は、主に研究開発費が前年同期の85百万円から128百万円へと増加したため、同38百万円増の200百万円（同23.7%増）であった。売上総利益率の低下と販管費増から営業損失となった。
- ・Q1 末総資産は主に現金及び預金、有価証券の減少等により1,615百万円（前期末比165百万円減）となった。自己資本は前期末比114百万円減少し1,552百万円となったが、自己資本比率は同2.5%ポイント上昇し96.1%であった。

◆ AI 関連の受託開発は、同社想定を上回る

- ・同社は2018/3期業績について、売上高1,100百万円（前期比58.4%増）、営業損失90百万円（前期損失額263百万円）、当期純損失90百万円（同365百万円）とする期初予想を据え置いた。6期連続の純損失となる見通しである。
- ・Q1 売上高と期初予想との比較では、その他の事業に含まれる AI 関連の受託開発は、同社の想定を上回る勢いの模様である。
- ・アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の2018/3期予想は従来予想を踏襲し、売上高1,150百万円（前期比65.7%増）、営業損失10百万円を予想する。

決算メモ

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

・第4四半期に売上計上を見込んでいる画像処理プロセッサ「RS1」は、アミューズメント機器メーカーの経営環境に左右されるリスクがある点に留意すべきである。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業 】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2015/3	464	30.6	-462	—	-265	—	-311	—	-120.62	762.65	0.0
2016/3	733	58.1	-176	—	-193	—	-64	—	-23.89	736.12	0.0
2017/3	694	-5.4	-263	—	-262	—	-365	—	-134.37	609.89	0.0
2018/3 CE	1,100	58.4	-90	—	-90	—	-90	—	-32.93	—	0.0
2018/3 E	1,150	65.7	-10	—	-10	—	-11	—	-4.02	605.86	0.0
2019/3 E	1,450	26.1	140	—	140	—	139	—	50.86	656.72	0.0
2017/3 Q1	43	-28.1	-131	—	-141	—	-141	—	-52.25	682.44	—
2018/3 Q1	141	223.3	-114	—	-114	—	-114	—	-41.79	568.03	—

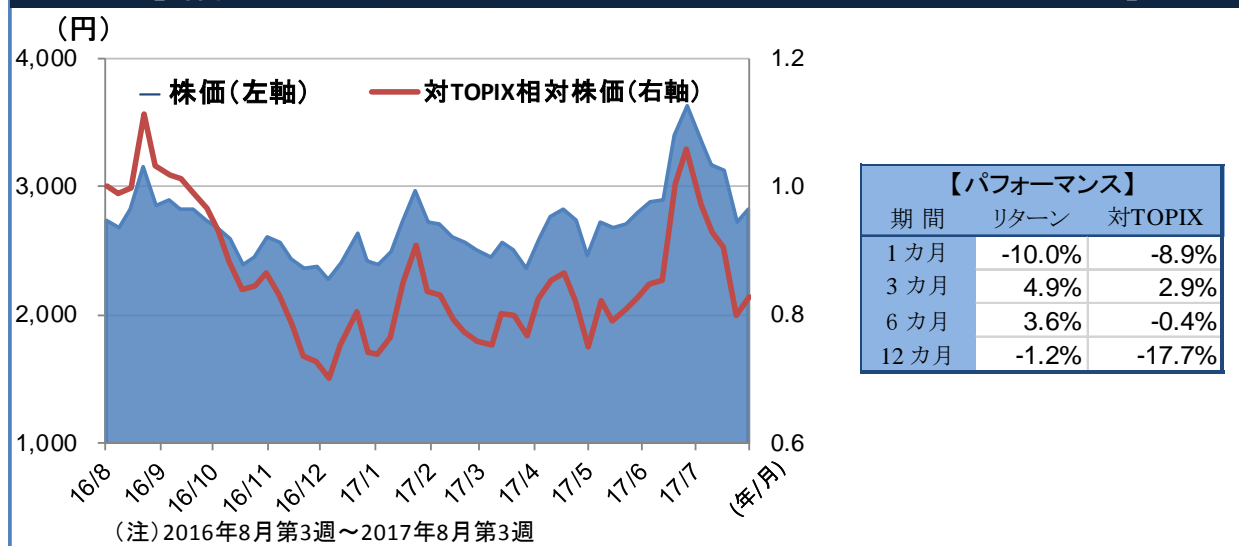
(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想、Q1：第1四半期

【 株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】

項目	2017/8/18	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	2,766	前期実績	—	4.5	—	—
発行済株式数 (千株)	2,733	今期予想	—	4.6	—	—
時価総額 (百万円)	7,560	来期予想	54.4	4.2	—	—
潜在株式数 (千株)	83	前期末自己資本比率		93.6%	前期ROE	-19.9%

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート (週末値) 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】



ディスクレーマー

アルファ・ウイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール [【info@awincap.jp】](mailto:info@awincap.jp)にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。